

しらかわ大使懇談会



市では、白河から見た戊辰戦争の意味や先人たちの功績を再検証し、それらを一つの手段として白河の魅力を広く発信していきます。

今回は「白河戊辰戦争 150年」をテーマに、しらかわ大使の皆さんからご意見をいただきました。その内容を抜粋してお届けします。



—— 今年は戊辰戦争150年の節目の年です。改めて「白河口の戦い」を振り返り、白河の魅力や今後のまちづくりについて、ご意見をいただければと思います。

田口 戊辰戦争の史跡が、これほど白河に残っているとは思いませんでした。歴史とは勝者側の記録なので、敗者側が何を考え、どう行動したのか、なかなか記録に残りません。今回の事業では、戊辰戦争に関連した資料の提供を市民に呼びかけています。庶民が戊辰戦争をどのように見ていたかを解明する新たな資料が見つかったら非常に面白い。白河から戊辰戦争の歴史に一石を投じることになると思います。

川瀬 明治維新といえば薩摩・長州や坂本龍馬・勝海舟らが主役で、学校の授業でも敗者側の歴史については詳しく教えられていません。先日、出版社の担当編集者に戊辰戦争のイメージを聞いてみたら「東北諸藩の先見性の無さ、その一言に尽きる」と返されてしまいました。天皇を西に押さえられ、道義的にも武力的にも太刀打ちできない状況の中で、東北諸藩は戦ったのだと改めて



と感じました。

市長 今回の事業では、「白河口の戦い」をテーマにマンガやDVDも制作します。先人たちは危険を顧みず、東西両軍を分け隔てなく弔いました。歴史の教科書には載っていない先人の「仁」のところに触れ、地域への誇りを再認識してほしいと思います。

野崎 山口県萩市内で「白河踊り」が踊られていることを、今回初めて知りました。白河領民の人情、平和を願った庶民の思い。「仁」のところが取り持つ縁をさらに深めて、萩市との交流が盛んになればうれしいです。萩市も白河市もおいしいものがたくさんあり、食文化の高い地域です。これからは「ラーメ合戦」など、いい意味で競い合える相手となれば面白いと思います。



戸井田 企業人の視点で見ると、この事業をどのようにまちづくりにつなげるのか、もう少し明確にさせたほうがいいと感じます。薩摩藩・長州藩との合同慰霊祭など、素材としては広がりを持ちそうなので、一過性のイベントで終わらせない工夫が必要だと思います。



とが目的ですが、今後どのようにシティプロモーションへとつなげていくか。市としても思案を巡らせているところです。

野崎 薩摩藩・長州藩の戊辰戦争関連資料を白河市に展示することはできないでしょうか。合同慰霊祭開催の地として、新白河駅前に資料館ができれば、新幹線の待ち時間を有効に過ごすことができそうです。そこで鹿児島県や山口県の名産が食べられたら観光の振興にもつながると思います。

川瀬 渋谷ヒカリエ（複合商業施設）で白河だるまのイベントが大々的に行われていました。伝統的なだるまだけでなく、干支やかわいいデザインのものがあるのがお客さんの目を引いていました。雑貨などで世界的に有名な「ビームス」とのコラボもあって、若い世代を中心に白河だるまの認知度が高まりました。白河産コシヒカリのパッケージも、とてもかわいいデザインだと思えます。あとは、どのようにして拡散させるかだと思います。



田口 せっかくマンガやDVDを作るのだから、テレビドラマ制作まで持っていきたいですね。2月に都内

の映画館でダライザーの映画が上映されていきました。白河市では『おとめ桜』など、他にも映画撮影の舞台になっています。都心から近く、小峰城など魅力的な歴史的資源も多く残っています。フィルム・コミッションを育成し、シティプロモーションへつなげてはどうでしょうか。



戸井田 NECやJALなど先進企業では新たな働き方として、ワーケーションを進めています。和歌山県白浜町では、町が用意したITビジネスオフィスが大人気となっているそうです。目の前が海、首都圏では考えられないような広いオフィス。今後の働き方改革を見据えて、白河市でもワーケーションを提案してはどうでしょうか。白河近郊にはたくさんさんのゴルフ場や良質の温泉がある。白河ラーメンもあり、休日は戊辰戦争の史跡めぐりもできる。都心から新幹線で90分程度というのが企業にとっても魅力的だと思います。

もう一つ、ぜひ検討していただきたいのが、自転車シェアリング。電車やバスなどの公共交通機関を補完する移動手段となり、観光客が小峰城や南湖公園など観光スポット



ットを効率よく移動できるようになります。自転車シェアリングで戊辰戦争の史跡めぐりツアーも面白そうです。

市長 戊辰戦争では、会津、二本松をはじめ各藩それぞれにドラマがありました。戊辰戦争150周年記念事業を通して各市と連携を深め、東京オリンピックに向けて積極的にPRしていきたいと考えています。

※1 フィルム・コミッション 地域活性化、文化振興、観光振興を図るために、映画などの撮影場所を誘致したり、撮影支援をする機関です。

※2 ワーケーション 「ワーケーション」とは「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語で、旅先で休暇を楽しみながら働く形態です。休暇に仕事を組み込むことで、長期休暇を取りやすくなるメリットなどが期待されています。

※3 自転車シェアリング 自転車の共同利用サービスでバイクシェアリング、コミュニティサイクルとも呼ばれています。一定のエリア内の拠点で自由に自転車の貸出・返却をすることができ、環境にやさしい交通手段として普及の動きが広がっています。



Kawase Nanao
川瀬 七緒 氏
第57回江戸川乱歩賞受賞作家

若い世代をターゲットに魅力を拡散させる工夫



Nozaki Hiromitsu
野崎 洋光 氏
「分とく山本店」総料理長

合同慰霊祭の開催地として新白河駅前に薩摩・長州の資料館



Taguchi Shintaro
田口 信太郎 氏
東邦銀行取締役、元NHK福島放送局長

「白河口の戦い」のドラマ化とフィルム・コミッションの育成



Toida Kazuhiko
戸井田 和彦 氏
（株）ファルテック相談役、元日産自動車（株）常務執行役員

自転車シェアリングで戊辰の史跡めぐりツアー